



熊本県内の橋梁での試験施工(塗付面積 600㎡)
既存塗膜 B系塗装(塩化ゴム系、塗替え2回)

研 有害物質を含む旧塗膜を安全に除去・回収

インバイロワン工法



第8回国土技術開発賞の最優秀賞に

土木研究所と山一化学工業が共同開発した環境に優しい鋼構造物塗膜除去工法『インバイロワン工法』が、第8回国土技術開発賞の最優秀賞を受賞した。5橋、最大600平方メートルで試験施工済み。鋼橋。特にPCBはスト

適用対象は全国に5万橋あると言われている鉛やクロムを含むさび止め塗料を塗布した鋼橋と、可塑剤としてPCBを含む1972年以前の塩化ゴム系塗料が塗布された鋼橋。特にPCBはスト

ックホルム条約に対応した国内法で平成28年までに全数の除去が義務づけられているが、国内には依然、最小でも300橋程度が手付かずで残っているとされる。

当り、1キンの剥離剤を塗布するだけで24時間後には塗膜が軟化、膨潤し、ヘラを用いてシート状に除去できる。デイスクサンダーやWJの様に除去時のダストや排水も出ず、従来の剥離剤のように(旧塗膜が)溶解することなく、有害物質を含んだ塗膜を湿潤シート状に軟化させるため、現場でより安全に除去・回収できる。また、養生の簡素化や産業廃棄物量を少なくするこ

とができる。

通常、塗替え塗装時にはケレンが必要だが、同工法はさび部分以外は、ウエスで拭いた後、ワイヤークラップで軽く研磨するだけで塗り替え塗装が可能になる。

そのため、コストは半分から最大1/6にまで縮減できる見込みだ。同工法は特許出願済み。工法の適用に当たっては、開発した両者が審査した上で施工権を付与する事で、品質の安定を確保している。今後はより大規模な橋梁を施工することで、工法の施工性向上や積算の確定、施工マニュアルの策定を急ぎ、塗膜除去、産廃処理から下地処理までをセット化した工法として積極的に営業していく方針だ。

コンクリートひび割れ抑制ファイバー (NETIS HK-030007)

Crackbuster
クラックバスター

<http://www.wescotjapan.com>

同工法は分子量の大きな高級アルコールを主剤とした鋼橋塗替え時の剥離除去技術で、塗膜表面に適量(標準11500ミクロン厚)の塗膜1平方

— わが国唯一の橋の専門紙 —

橋梁新聞